

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：R6年3月26日

事業所名 児童発達支援事業所とことこ

保護者等数(児童数) 19名

回収数 14

割合74%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14				室内だけでなく、園庭が広く、身体を動かして思い切り遊ぶことができる。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14				子どもに対し、先生の数で充分で手厚く見てもらえる。色々な分野の先生がいる。(臨床心理士に相談できる)	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12			2	開放的なのでどこに何があるかが分かりやすい。靴箱やかごにマークが付いていてわかりやすい。	あえて段差のある空間の中で、暮らしや遊びに即した構造化を心掛けています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14				縁側があり、そこでゆったりとした時間が過ごせるのがよい。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	14				定期的なモニタリングで子どもの現状と課題を共有できている。心理師にも評価してもらい計画の作成ができている。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			2		・支援計画案のお伝えの時に丁寧な説明を行っています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14				子どもの様子を見て支援してくれている。子どもの気持ちを大事にしてくれている。	
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	13			1	プログラムが定期的に変わったりしているのか、具体的にはわからない。山登りや散歩、様々な遊びをしている。	日々のファイルやおたよりでお伝えします
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10			4	系列の園との交流があり、良い経験になっている。	
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				利用するにあたり丁寧な説明があった。	
保護者への説明等	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14				丁寧な説明があった	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	12			2	子供との関わり方等臨床心理士と定期的に話ができている。保育参加や連絡帳のやり取りで相談することができている。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	14				連絡ノートや送迎時に子どもの様子を伝えてくれる。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14				3か月に一度のモニタリングの時期にゆくり話ができる。いつでも相談に乗ってもらえる。アドバイスがもらえ、安心して相談できる。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11			3	他の保護者の方との情報交換や交流の場となっている。同じ悩みを抱えているのが分かり、嬉しい。	今年度より保護者同士の座談会を実施しています。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14			相談に対し、きちんと対応されていて信頼できる。一緒に対応を考えてくれる。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14			直接話すだけでなく、メールや電話も活用してくれる。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12		2	お便りやインスタ等で子どもの様子を知ることができる。	HPに自己評価を掲載し、日々の様子はインスタグラムを活用し発信しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14			写真の掲載は顔を隠してもらい安心できる。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12		2	緊急時の対応について（避難経路等）、マニュアルを作成し、知らせてもらえるとうい。子どもにも分かりやすく教えてもらえるとうい。	緊急対応について随時おたよりでお伝えします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13		1	避難時の防災頭巾があるとよい。	避難用具については再度確認検討をします。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14			楽しみにして通っている。安心して通うことができている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	14			通っていることに誇りを感じて声を掛けてくれありがたい。子どもが楽しそうに通う姿を見て満足している。笑顔で迎えてくれてあり	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。